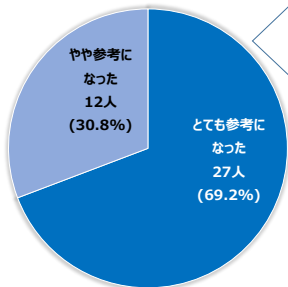


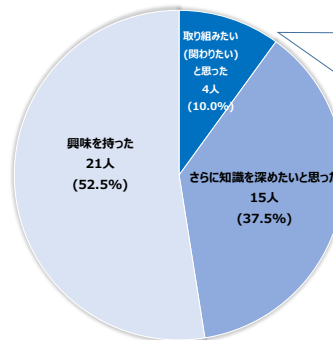
問8 地域活動紹介『EST(Eating Support Team)委員会』・『認定栄養ケア・ステーション』は参考になりましたか。
 問9 問8の回答を選択した理由について、具体的に教えてください。

- 大きなHPでようやくではありますが、チームを作ってESTを立上げ開始しました。口腔ケア、口腔手術もできることでのチーム形成は素晴らしい。ただもっと大きくなって、在宅者も指導できるといいと思います。管理栄養士の訪問については、もっと高齢者の支払い能力のある所に下がってほしいかも。
- 良い取り組みだなと感じました。もっと広く周知できれば利用し易さと利用者様への負担などが今後どの様に繋げていけるかなと思いました。
- システム自体をはじめと知ることができた。
- 王子病院での取り組みが理解できた。



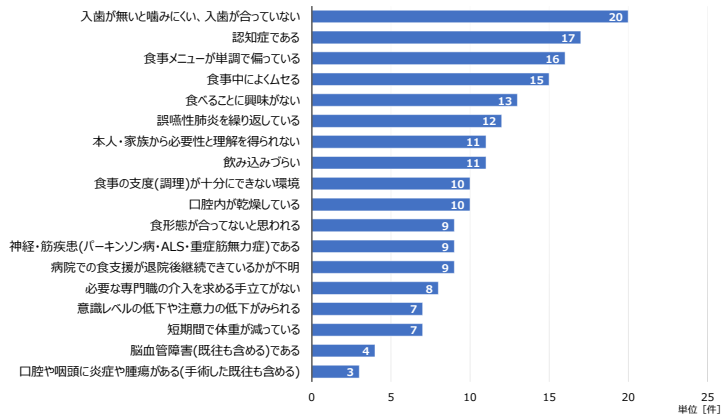
- 病院内で行われているESTの内容を知ることができていい機会となった。肝性脳症、乳がんの栄養について機会があれば相談させていただきたいです。
- 急性期リハでの取り組みがよく分かった。病院からも在宅への在宅食支援の引継ぎができるような仕組みができるとよいなと感じた。
- 大きな病院での取り組みが心があった。
- 食形態の問題で同じ食事しかとれず、栄養が偏る方などを見てきたことがあり、管理栄養士の訪問サービスがあることを知って相談できる幅が広がりました。
- 現状を知れてよかった。ケアステーションの利用までの流れがわかり、今後の参考になりました。
- 訪問管理栄養士が苫小牧にいないことを知りませんでした。
- 薬局に栄養士さんがいると知らなかった。
- 自分達が知らない分野の理解ができた。
- どちらのような事をしているのか知らなかった為。
- 食べることが健康には重要と思うため。
- 取り組みの意義を理解しました。

問10 今回の在宅あるある会に参加して、『苫小牧における食支援』についてどう思われましたか。
 問11 問10で取り組みたい(関わりたい)と思ったと回答した方にお伺いいたします。具体的にどのように取り組みたい(関わりたい)と思いましたか。

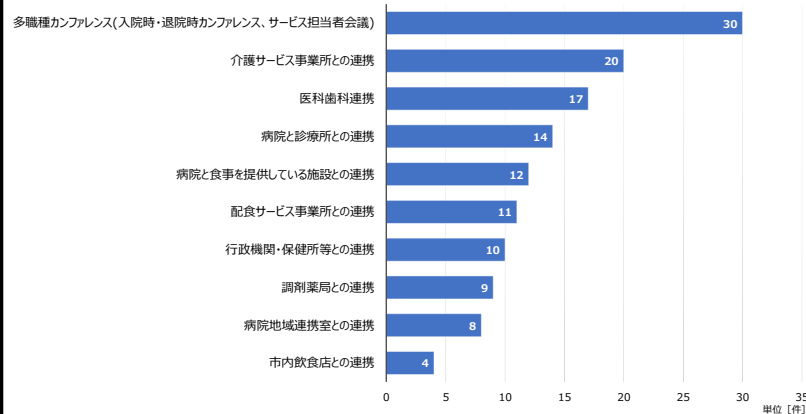


- 在宅リハビリに繋げていく方法を考えたい。
- 自分が訪問している患者さんに該当するようなケースが出てきた時支援だったり、情報提供に繋がればと思っています。
- 栃木県薬剤師会の事例を参考に、在宅でのオーラルサポートや職員へのオーラルケアへの介入を増やしたい。
- ケアマネジャーとして仕事をしているので、利用者への食事量や体重、口腔内にも目を向けアセスメントしていくこと。
- 食生活が改善されることで、身体状況の回復に現に利用者を通し体験しましたので、食生活から生活のリズムを整うことで元気になることを意識しながら関係機関との連携を図っていきたいと思います。

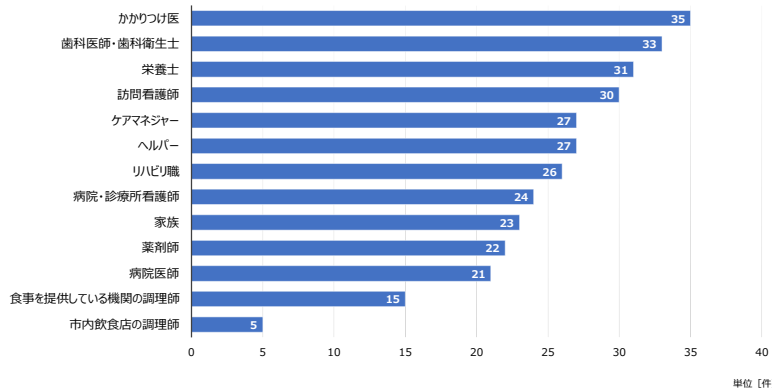
問12 患者・利用者の食支援に関して経験した困った状態・状況を教えてください。※複数回答可



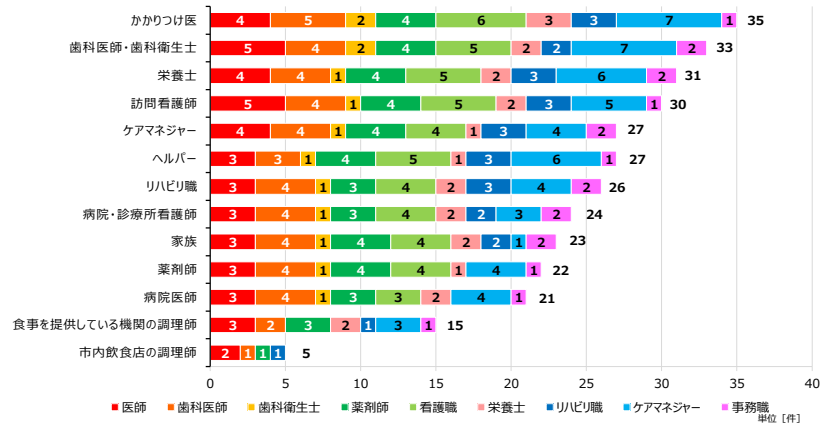
問13 どのような連携場面で食支援が必要だと思いますか。※複数回答可



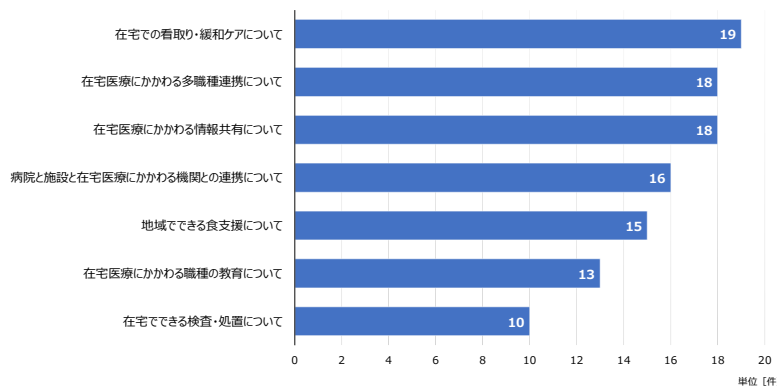
問14 どのような職種との連携が食支援に必要だと思いますか。 ※複数回答可



問14 どのような職種との連携が食支援に必要だと思いますか。 ※複数回答可 職種別集計



問15 今後、開催してほしいテーマ研修はありますか。 ※複数回答可



問16 今後、在宅あるある会で取り上げて欲しい内容があればご記入ください。

- PT、OT、STさんの在宅における活動内容や他職種が訪問した際にチェックしてほしい事などがあるかどうかなど。
- デイサービスについて教えてください。
- 患者さんの状態と胃腸の選択、刻み食への変更等について知りたいです。

問17 その他、在宅あるある会についてのご意見ご質問があればご記入ください。

- いつも大変興味を持って聞かせていただいています。ありがとうございます。
- いつも大変勉強になります。ありがとうございます。
- この様な講演を市や各町内会等で行って一般の方々にも広く知識を持って頂いたら良いのではないのでしょうか。